

DENSO



株主のみなさまへ

第92期（2014年度）中間報告書 [2014年4月1日～2014年9月30日]



株式会社 **デンソー**

(証券コード 6902)

ごあいさつ

株主のみなさまには、平素より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014年度第2四半期の業績

2014年度第2四半期の業績は、車両の生産の増加により、売上高は2兆710億円と、増収になりました。営業利益は、コストダウンや生産性向上による合理化努力、売上増加による操業度差益があったものの、将来の成長のための研究開発費や能力増強投資の増加により、1,613億円と減益、経常利益は1,824億円、四半期純利益は1,224億円と、いずれも減益になりました。

将来の成長に向けた投資が先行するため、2014年度は減益となりますが、来年度以降に投資の成果が現れると考えており、引き続き、積極的な技術開発とものづくりに取り組んでまいります。

2014年度通期の見通しについては、上期の業績及び、市場動向を踏まえ、通期予想売上を4兆2,300億円(前期比3.3%増)に修正します。営業利益は、アジアでの伸び悩みの影響により当初の予想通り、3,500億円(前期比7.3%減)を見込んでいます。



利益還元のため、一層の努力を重ねてまいります

株主のみなさまへの利益還元は、安定配当を基本とし、中長期的には連結配当性向30%を目標にして取り組んでいます。

当第2四半期末の配当金については、通期の業績見通しを踏まえ、当初の予想通り、1株当たり47円とし、通期では95円を予定しています。

新たな成長ステージに向けて

2015年中期方針に基づいた取り組みを踏まえ、現在、2018年をターゲットとした新しい中期方針を策定しています。引き続き、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2014年11月

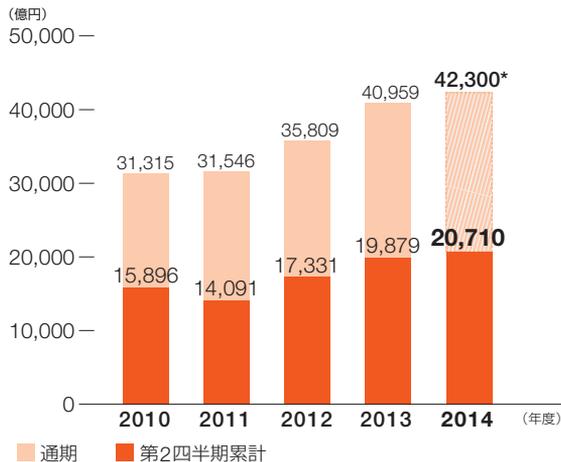
取締役社長

加藤宣明

連結業績ハイライト

* 2014年度通期は見込み

売上高



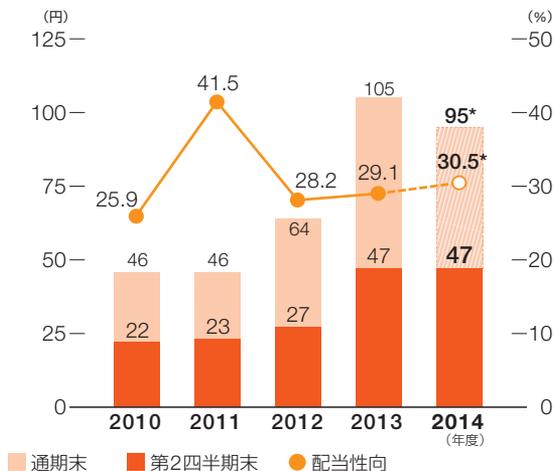
経常利益・四半期(当期)純利益



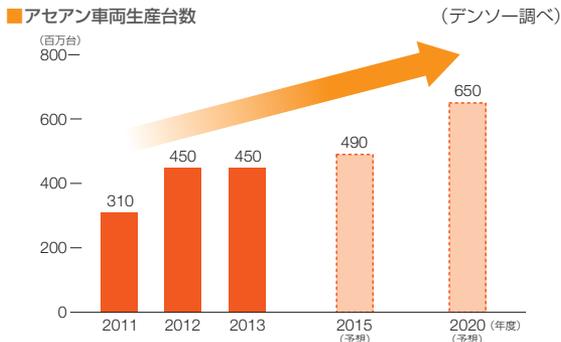
1株当たり四半期(当期)純利益/自己資本利益率(ROE)



1株当たり配当金/配当性向



自動車市場



アセアンの自動車市場はタイやインドネシアを中心に急速に拡大し、車両生産台数は450万台に達しており、今後はベトナムやフィリピン等でもモータリゼーションの進展が予想されています。欧米自動車メーカー・部品メーカーも当地域への進出を加速させるなど、アセアンは競争が激化する世界有数の大市場となっていきます。

数字で見るアセアン 2014年3月末時点

売上高



約**4,000**億円
40,959億円

拠点数

22社
185社

従業員数

2.7万人
14万人

上段：アセアン
下段：全体

デンソーのアセアン事業



デンソーでは「お客様の近くで生産する」というポリシーのもと、積極的に海外進出を進めてきました。アセアン進出の歴史も長く、1972年にタイに生産拠点を設立して以来40年間拡大を続け、現在では8か国22拠点を立ち上げ、製品特性に応じて集中生産と相互補完生産を行っています。

主要製品

タイ

電装品、カーエアコン、二輪用マグネット、プラグ、ディーゼルコモンレールシステム製品

インドネシア

カーエアコン、ラジエータ、プラグ、フィルタ

マレーシア

カーエアコン、電装品、電動パワステECU

フィリピン

メータ、カーエアコン

ベトナム

エンジン関係製品(エアフロメータ、VICアクチュエータ)

カンボジア

二輪向けマグネット用センサ

地域戦略

今後アセアンでは、「アッパーミドル層*以上の人口の急速な増加」「FTAやEPAの進展による、人・モノ・カネ・サービス移動の更なる自由化」「環境・安全に関わる規制強化」が進んでいきます。

このような事業環境変化のなか、デンソーでは以下の4つの成長戦略を打ち立て、持続的な成長に向けた活動を行っています。

*アッパーミドル層：可処分所得が1.5万USドルを超える世帯

4つの成長戦略

1. 技術基盤の強化

製品競争力を高めるため、タイ・テクニカルセンターを中心に、簡易アイドルストップシステム等の省燃費製品やエアバッグ等の安全製品に関して、**地域最適仕様**の開発に注力していきます。これを実現するため、タイ・テクニカルセンターには**100名の現地技術者**が在籍し、アセアン固有の環境や使用方法、嗜好を製品仕様に反映させています。



タイ・テクニカルセンター

2. モノづくりの強化

低コスト化を実現するため、日本の生産方式を海外で再現するのではなく、地域に合わせて設備・型の設計・製作を現地化し、現地仕入先や現地材料を活用してコストを最小化する**深層現地化**を進めています。また、FTAの進展に伴うアセアン域内での**相互補完生産・供給体制**の進化と、新・新興国を活用した**低コスト生産活動**に取り組みます。例えばカンボジアでは、国内の低労務費に加え、タイの人・設備・技能を伝承する形で、日本人出向者が入らずタイ人のみによる**地域主導・完結型**で拠点の立ち上げを実施しています。

■ 深層現地化コンセプト



「深層現地化」を図り真の現地化率向上

2014年度目標 **90%**

3. 未開拓分野の拡大

新興市場で自動車需要が拡大するなか、新車のみならず中古車の修理・点検等アフターサービスのニーズが高まっています。当社は、高品質かつスピーディな修理サービスの安定供給を狙ったトータルカーサービス事業の構築により、**市販事業の拡大**を図ります。



カンボジアのトータルカーサービス直営店

4. 人材の開発と育成

上記3つの戦略を支えるため、地域統括会社を中心とした現地完結のマネジメントと、ローカル人材が主役となり事業運営ができるよう、**現地人材の開発と育成**により力を入れていきます。



デンソー
エコビジョン2015

デンソーでは、製品の製造、市場での使用、廃棄に至るすべての段階において、トータルな視点で、環境を重視した開発・設計及び生産活動を行っています。

エコプロダクト

環境と性能向上の両立を目指した開発・設計

基本方針

地球温暖化防止に貢献する技術をはじめとする環境を重視した製品の開発に取り組んでいます。そして、クルマだけでなく社会全体に働きかけ、環境負荷ゼロ社会の実現に努めます。

エネルギー多様化への対応

内燃機関の熱効率向上

エネルギー交通流の最適制御

取り組み事例

世界最高品質のSiCパワーデバイスを開発

ハイブリッド車及び電気自動車のインバータ用に、世界最高品質のSiCパワーデバイスを開発しました。

独自の特許技術により、課題であったウェハの品質不良を1/10に低減することに成功。SiCパワーデバイスを使用したインバータは、冷却構造の簡素化が可能となり、体積の8割以上の小型化と燃費向上が期待できます。今後は実用化に向けて、更なる開発に取り組んでいきます。



SiCウェハ

マツダ 新型デミオ向けにコモンレールシステムを納入

ディーゼル車向けに、高い燃焼効率の実現を可能にするコモンレールシステムを開発しました。

世界最高レベルの高拡散噴霧ノズルと燃料噴射自由度を向上させたインジェクタが搭載されており、燃費向上に貢献しています。当製品は、従来採用されていた当社製品に引き続き、マツダ株式会社の「SKYACTIV」技術に採用され、「新型デミオ」向けに納入しています。



インジェクタ

エコファクトリー

グローバルな生産環境負荷の着実な削減

基本方針

省資源・省エネルギー等を推進し、デンソーグループ全体での環境負荷の更なる削減に取り組んでいます。また、世界各地の地域特性に基づいた自主的な環境負荷削減目標を設定し、継続的な改善が図れるシステムを運用しています。

順法・環境リスク最小化

環境パフォーマンス向上

地域・自然との共生

取り組み事例

コージェネレーション設備の導入によるCO₂排出量削減

当社では、CO₂排出量の少ない都市ガスを燃料に発電と排熱利用ができる「コージェネレーション設備」を、国内工場に積極的に導入してきました。現在、自家発電比率は34%に達し、15基によるCO₂排出量削減効果は年間14万トンと見込まれています。

■コージェネレーションによる自家発電



SDM(タイ生産会社)が「エコ共生コンテスト」で1位獲得

SDM内に設置されたエコパークが、タイ国工業団地公社主催の「エコ共生コンテスト」で1位を獲得しました。同施設では、環境教育に関する展示、太陽光・風力発電、池での生態系保全等を行っています。



エコパーク(敷地面積11,890㎡)

製品・技術

TOPIC 01 高度運転支援技術の公道試験を開始

<http://www.denso.co.jp/ja/news/newsreleases/2014/140714-01.html>

安全運転支援と運転負荷軽減を目指した高度運転支援技術の開発に向け、愛知県・南知多道路での公道試験を開始しました。従来はテストコースでこれら技術の開発を行ってきましたが、公道で走行試験を行うことにより、テストコースでは得ることができない課題を抽出・分析・解決し、技術の確立を目指します。

DP-AMS*開発室を新設

2014年4月より、高度運転支援技術に関するコンセプトを構築し、システム先行開発を推進する部署を新設しました。 *AMS: Automated Mobility System

<公道試験の内容>

1. 単一レーン内の自動走行



2. 自動レーンチェンジ



TOPIC 02 日本初 QRコード開発チームが欧州発明家賞受賞 <http://www.denso.co.jp/ja/news/topics/2014/140618-01.html>

デンソーのグループ会社である株式会社デンソーウェーブと、株式会社豊田中央研究所の技術者で構成されたQRコード開発チームが、欧州特許庁が主催する欧州発明家賞において、一般投票によって選ばれるPopular Prizeを日本から初めて受賞しました。

また今年も、QRコードの中央にスペースを設け、写真やイラストを配置できる新しい「フレームQR」や、QRコードの読み取り情報から消費者行動のデータを蓄積・分析して提供する企業向けビジネス「Q-revo」の開始を発表しました。



新QRコード「フレームQR」専用の読み取りアプリは、上のQRコードからダウンロードできます。

事業展開

TOPIC 03 新上海テクニカルセンターの開所式を実施

中国市場拡大への対応と、市場ニーズに合致した製品開発体制を強化していくため、上海市のテクニカルセンターを移転・拡充し、稼働を開始しました。新テクニカルセンターは新たに総合実験棟を含む社屋を建設し、環境風洞室、環境実験室、エミッション実験室、エンジン実験室等の評価設備を導入しています。今後も中国における競争力ある製品の開発に貢献していきます。

<新上海テクニカルセンターの概要>

社名 : 電装(中国)投資有限公司上海技術中心

所在地 : 中国上海市闵行区莘庄工業区内

敷地面積 : 約27,000m²

従業員数 : 約500人(2015年度計画)



新上海テクニカルセンターの外観



環境風洞室

セグメント情報

地域別(当社グループの所在地別)売上高

欧州

売上高 2,506億円
 前期比 \uparrow 13.5%増
 連結子会社 35社

北米

売上高 4,350億円
 前期比 \uparrow 10.2%増
 連結子会社 27社

日本

売上高 9,039億円
 前期比 \downarrow 1.5%減
 連結子会社 62社

豪亜

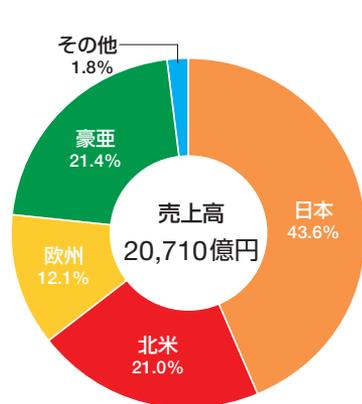
売上高 4,437億円
 前期比 \uparrow 6.7%増
 連結子会社 58社

その他*

売上高 377億円
 前期比 \downarrow 4.4%減
 連結子会社 6社

※ 南米等

(注)外部顧客に対する売上高



(注)外部顧客に対する売上高の比率

日本

小型車へのシフトや海外向け売上の減少により減収、売上減少による操業度差損や労務費等固定費の増加により減益になりました。

北米

好調な経済による車両生産の増加により増収、売上増加による操業度差益や合理化努力により増益になりました。

欧州

市場の回復による車両生産の増加により増収、売上増加による操業度差益や合理化努力により増益になりました。

豪亜

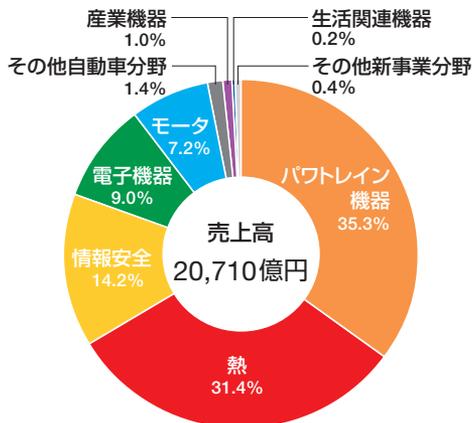
主に中国における市場の成長に伴う車両生産の増加により増収、将来の成長のための工場・テクニカルセンター立ち上げ費用や労務費が増加したことにより減益になりました。

製品別売上高

生活関連機器

売上高 37億円
前期比 0%減

自然冷媒 (CO₂)
ヒートポンプ式給湯器



パワトレイン機器

売上高 7,309億円
前期比 5.5%増



ディーゼル車用コモンレールシステム

産業機器

売上高 197億円
前期比 15.2%増

産業用ロボット



電子機器

売上高 1,862億円
前期比 0.6%増



エンジン制御
コンピュータ

熱

売上高 6,508億円
前期比 7.3%増



エアコンユニット

モータ

売上高 1,482億円
前期比 6.7%増

ワイパシステム



情報安全

売上高 2,938億円
前期比 4.5%減



コンビネーション
メータ



カーナビゲーション
システム



ミリ波レーダ



レーザーレーダ

主な得意先

トヨタ自動車(株)、本田技研工業(株)、現代・起亜、GM、クライスラー、スズキ(株)、ダイハツ工業(株)、マツダ(株)、フォード、フィアット、アウディ・フォルクスワーゲン、富士重工業(株)、日野自動車(株)、いすゞ自動車(株)、日産自動車(株)、三菱自動車工業(株)、BMW、メルセデス・ベンツ、プジョー・シトロエン、ジャガー・ランドローバー 他

四半期連結財務諸表

連結貸借対照表 (単位: 百万円)

科目	2014年度 第2四半期末	2013年度末	科目	2014年度 第2四半期末	2013年度末
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	2,298,945	2,341,647	流動負債	912,557	1,031,016
現金及び預金	629,804	607,618	支払手形及び買掛金	506,359	493,933
受取手形及び売掛金	649,044	644,559	短期借入金	37,126	87,165
有価証券	319,418	426,490	その他の流動負債	369,072	449,918
たな卸資産	457,209	422,425	固定負債	661,863	588,145
その他の流動資産	243,470	240,555	社債	100,000	80,000
固定資産	2,266,690	2,100,860	長期借入金	247,832	228,578
有形固定資産	1,121,681	1,043,676	その他の固定負債	314,031	279,567
機械装置及び運搬具(純額)	441,017	401,505	負債合計	1,574,420	1,619,161
その他の有形固定資産(純額)	680,664	642,171	(純資産の部)		
無形固定資産	24,267	23,941	株主資本	2,498,197	2,421,072
投資その他の資産	1,120,742	1,033,243	資本金	187,457	187,457
資産合計	4,565,635	4,442,507	資本剰余金	269,834	269,497
			利益剰余金	2,260,362	2,184,238
			自己株式	△219,456	△220,120
			その他の包括利益累計額	361,694	270,419
			その他有価証券評価差額金	363,367	307,687
			繰延ヘッジ損益	△417	△113
			為替換算調整勘定	8,280	△27,380
			退職給付に係る調整累計額	△9,536	△9,775
			新株予約権	316	488
			少数株主持分	131,008	131,367
			純資産合計	2,991,215	2,823,346
			負債純資産合計	4,565,635	4,442,507

連結損益計算書 (単位: 百万円)

科目	2014年度 第2四半期累計	2013年度 第2四半期累計
売上高	2,070,985	1,987,862
売上原価	1,715,107	1,620,490
売上総利益	355,878	367,372
販売費及び一般管理費	194,543	175,185
営業利益	161,335	192,187
営業外収益	28,611	29,739
受取利息配当金	15,425	11,051
その他	13,186	18,688
営業外費用	7,588	7,289
支払利息	3,736	3,508
その他	3,852	3,781
経常利益	182,358	214,637
特別利益	4,354	16
特別損失	11,521	62
税金等調整前四半期純利益	175,191	214,591
法人税、住民税及び事業税	40,554	56,847
過年度法人税等	—	3,610
法人税等調整額	3,850	△6,787
少数株主利益	8,423	10,839
四半期純利益	122,364	150,082

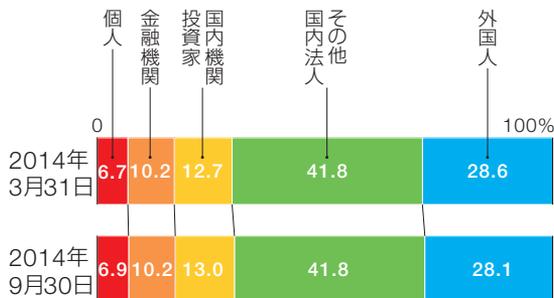
連結キャッシュ・フロー計算書 (単位: 百万円)

科目	2014年度 第2四半期累計	2013年度 第2四半期累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,179	203,699
投資活動によるキャッシュ・フロー	△142,388	△248,021
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,368	△6,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,332	7,056
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△76,245	△44,069
現金及び現金同等物の期首残高	641,694	707,330
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	852	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	566,301	663,261

株式の状況 (2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	1,500,000,000 株
発行済株式総数	884,068,713 株
株主数	56,126 名

株式保有者別分布状況 (議決権比率、%)



会社の概要

会社データ

社名	株式会社デンソー
本社所在地	〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1-1 電話 0566-25-5511(案内)
設立年月日	1949年12月16日
資本金	1,874億円
従業員数(連結)	139,842名(就業員ベース) (2014年3月31日現在)

役員 (2014年9月30日現在)

取締役

取締役社長	加藤 宣明	取締役	白崎 慎二
取締役副社長	小林 耕士	取締役	田島 明雄
取締役副社長	宮木 正彦	取締役	安達 美智雄
取締役副社長	鹿村 秋男	取締役	若林 宏之
取締役副社長	丸山 晴也	取締役	岩田 悟志
		取締役	伊藤 正彦
		取締役	豊田 章一郎
		取締役	George Olcott*1
		取締役	名和 高司*1

*1 社外取締役

大株主 (上位10名)

大株主名	持株数 (千株)	議決権比率 (%)
トヨタ自動車株式会社	197,193	24.73
株式会社豊田自動織機	69,373	8.70
東和不動産株式会社	33,309	4.17
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	31,362	3.93
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	26,023	3.26
日本生命保険相互会社	22,257	2.79
ステート ストリートバンク アンド トラストカンパニー	13,191	1.65
デンソー従業員持株制度会	12,521	1.57
アイシン精機株式会社	12,518	1.57
三井住友海上火災保険株式会社	10,604	1.33

注) 当社は自己株式86,547千株を保有していますが、上記大株主からは除いています。

監査役

常勤監査役	岩瀬 正人	監査役	張 富士夫*2
常勤監査役	新村 淳彦	監査役	齋藤 勉*2
		監査役	近藤 敏通*2

*2 社外監査役

専務役員

白崎 慎二*3	安達 美智雄*3	伊藤 正彦*3
Manfredo Nicoletti	山中 康司	加藤 俊行
田島 明雄*3	若林 宏之*3	有馬 浩二
榎野 孝和	岩田 悟志*3	

*3 取締役兼務

常務役員

白井 定広	篠原 幸弘	海老原 次郎
下川 勝久	木村 和昌	Jack Helmboldt
村上 幸彦	近藤 文一	石塚 裕二
伊奈 博之	鶴田 真徳	山崎 康彦
桑村 信吾	飯田 康博	佐藤 久彰
加藤 之啓	伊藤 健一郎	隈部 肇
都築 昇司	松木 秀明	松井 靖
加藤 良文	山口 眞介	武内 裕嗣
豊田 達也	梶田 真孝	
村上 正尚	奥地 弘章	

株主メモ

事業年度：4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会：6月
配当金支払：3月31日
株主確定日：なお、中間配当を実施する場合は9月30日です。
単元株式数：100株
証券コード：6902
株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座管理機関：三菱UFJ信託銀行株式会社

株式会社 デンソー

〒448-8661 愛知県刈谷市昭和町1丁目1番地
TEL.0566-25-5511(案内)
www.denso.co.jp

株式の諸手続きに関するご案内

単元未満(100株未満)の株式をご所有の株主様へ

当社株式の単元株は100株であり、単元未満株式は市場で売買できませんが、以下お手続きが可能です。

	制度の内容	例：株主様が80株をご所有の場合
買取制度	単元未満株式を当社に市場価額でご売却いただける制度	<p>株主様(80株) → 80株 買取請求 → デンソー → 買取代金 支払 → 株主様(0株) 80株譲渡</p>
買増制度	単元未満株式を1単元(100株)にするために、不足分を当社から市場価額でご購入いただける制度	<p>株主様(80株) → 20株 買増請求 → デンソー → 買増代金 支払 → 株主様(100株) 20株譲渡</p>

証券口座で当社株式をご所有されていない株主様へ

このような場合、株主様の株式は三菱UFJ信託銀行の当社「特別口座」でお預かりしています。

「特別口座」でお預かりしている株式は、市場で売買できない等一定の制約がございますので、「特別口座」から「証券口座」へ株式のお振替をご検討ください。お手続きの詳細は三菱UFJ信託銀行までお問い合わせください。

株式に関するお問い合わせ先について

◎配当金受取方法の指定(変更)・買取(買増)請求・住所変更等各種お手続きの窓口は、株式をご所有いただいている口座区分により異なります。

ご所有株式の口座区分	お問い合わせ先
証券口座	口座を開設されている証券会社
特別口座	三菱UFJ信託銀行株式会社 連絡先：三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711(通話料無料)

<表紙について>

安全運転支援と運転負荷軽減を旨とした高度運転支援技術をモチーフにしています。詳細は6ページをご覧ください。



この冊子は環境にやさしい植物インクを使用しています